

作成日：西暦 2026 年 2 月 5 日

「母性看護技術自己評価における WEB システム活用の有効性」に参加された方へ

産業医科大学では、以下の研究を実施しております。この研究は、これから実施する調査で得られる情報に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年3月23日制定 令和3年6月30日施行）」により、対象となる皆様のお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。本研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名

母性看護技術自己評価における WEB システム活用の有効性

2. 研究期間

研究機関の長の許可日～2028年3月31日

3. 研究機関

産業医科大学 産業保健学部 看護学科

4. 研究責任者

産業医科大学 産業保健学部 看護学科 教授 森本 眞寿代

5. 研究の目的と意義

母性看護技術 WEB 入力システムを導入し、学内演習と臨地実習終了後の自己評価の WEB 入力の指示をした。学内演習終了後に WEB 入力された平均値を学生に公開し実習開始までの自主練習への動機づけを行った。本研究では、この WEB システム導入と教授法への学生評価から有効性の検証を行う。また、実習体制が変更となり病院実習 2 週間から 1 週間と縮小されたが、動機づけにより母性看護技術修得の質が担保されているかを検証することが目的である。

本研究で得られた教授法の工夫に対する学生の評価、および母性看護技術到達度に見える化により教員・学生間の共通認識と、今後の教育方法の質改善の資料となることに本研究の意義がある。

6. 研究の方法

本研究は、2021 年度～2022 年度に西九州大学において実施された WEB 調査及び WEB アンケート（一部留め置き法もあり）で得た既存のデータを用いて行います。

本研究では、これらの既存データに対して統計的分析を行い、母性看護学における母性看護技術修得に向けた教授法の工夫に関する基礎的資料を得ることを目的としています。

なお、本研究において新たな調査や介入は行いません。

7. 個人情報の取り扱い

個人情報は、分析する前にデータの整理簿から氏名を削り、代わりに新しく符号をつけ、匿名化し研究責任者が管理しており、個人情報の漏洩を防止します。

この研究で得られたデータは、院内の規定に従い、原則として、当該論文等の発表後 10 年間保存された後、全て廃棄します。その際には研究責任者の管理の下、匿名化（個人識別不可能）したことを確認し、紙媒体のものはマスキングを施した上でシュレッダー処分し、電子媒体のものは復元不可能となるよう初期化を行い、個人情報が外部に漏れないように対処します。また同意が撤回された場合には、その時点までに得られたデータや試料を同様の措置で廃棄します。

8. 得られた情報の利用目的の範囲

- ・ 学術発表など研究目的：あり
- ・ 第三者提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・ 海外への提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・ 公的データベース等への登録：なし

9. 問い合わせ先

産業医科大学 産業保健学部 看護学科

教授 森本 眞寿代（093-603-1611（代））

10. その他

本研究に参加することによる直接的な利益はありません。また経済的負担や謝礼もありません。

本研究は、本学運営費（講座研究費）により、本学の研究責任者のもとで公正に行われます。本研究の利益相反については、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。